

「鎌倉地域の地区交通計画に関する提言」(平成8年5月鎌倉地域交通計画研究会)の20の施策

施策の一覧表

(1/2)

		施策の内容
自動車交通 の抑制策		<p>① 鎌倉地域におけるロードプライシング</p> <ul style="list-style-type: none"> 鎌倉地域の外周9箇所(19頁のゲ-11~ゲ-19)で料金を徴収する。 現在の法体系では導入できないが、将来導入できる可能性は高い。 <p>注) 料金収入を、例えば歩行者尊重道路の整備やパーク&ライドやシャトルバス(ミニバス)等の公共交通の運営に組み込む等、より柔軟な運用を検討することも重要である。</p>
公共交通 への 転換 方策	パーク &ライド	<p>② 江ノ電七里ガ浜でのパーク&(ルール)ライド</p> <ul style="list-style-type: none"> 七里ガ浜駅の東側にある約500台の駐車場を利用し、パーク&(ルール)ライドを導入する。
	パーク& バスライド	<p>③ 海浜公園でのパーク&バスライド</p> <ul style="list-style-type: none"> 海浜公園の地下に予定されている駐車場(約350台)を活用したパーク&バスライドを導入する(この方策は、夏季の臨時民間駐車場に対して、通年の営業基盤を与える可能性を有している)。 鶴岡八幡宮への直行バス、及び大仏と材木座地域を結ぶバスの中継拠点とする。
		<p>④ 深沢地域でのパーク&バスライド</p> <ul style="list-style-type: none"> 深沢地域での開発に伴い駐車場を整備し、パーク&バスライドを導入する。 鎌倉駅西口への直行バスを運行する。
		<p>⑤ 鎌倉霊園でのパーク&バスライド</p> <ul style="list-style-type: none"> 鎌倉霊園の駐車場(約300台)を活用したパーク&バスライドを導入する。 鶴岡八幡宮への直行バスを運行する。
	シャトル バス (ミニバス)	<p>⑥ 海浜公園~鶴岡八幡宮間 (③と対応)</p> <p>⑦ 大仏~材木座地域間 (")</p> <p>⑧ 鎌倉霊園~鶴岡八幡宮間 (⑤と対応)</p> <p>⑨ 鎌倉市役所~湘南モノレール湘南深沢駅間 (④と対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> 鎌倉駅西口での交通静穏化、藤沢鎌倉線での自動車交通量の削減を図るために、同路線でのシャトルバス(ミニバス)の運行を行う。 なお、一般車両は市役所でUターンさせ、藤沢鎌倉線から鎌倉駅西口広場及び今小路通りへの通行は制限する。
バス専用 レーン	<p>⑩ 鎌倉参道線でのバス専用レーン</p> <ul style="list-style-type: none"> 鎌倉駅東口を起終点として組まれる現在のバス網の主軸であり、かつパーク&バスライドのシャトルバスの主要な路線となる鎌倉参道線(八幡宮前交差点~下馬交差点間)でバス専用レーンを導入する。 路上駐車を排除する効果も持ち合わせる。 	

施 策 の 一 覧 表

(2/2)

		施 策 の 内 容
↓ 続 き	バス追越し 現示等	⑪ 金沢鎌倉線でのバス優先策（バス追越し現示等） ・ 代替え路線のない金沢鎌倉線沿道地域では、同路線が混雑すると、抜け出せない状況になる。 ・ このため、路線バスやシャトルバスに走行の優先性を与えるバス優先策（信号部で一般車の前に出る”バス追越し現示”等）を行う。
	乗り継ぎの 利便化	⑫ バス乗り降り自由切符や周遊券、JR・江ノ電・バス・タクシー相互を自由に乗り継げる割引周遊券の発行
	円滑な 交通制御	⑬ 江ノ電踏切と連動した下馬交差点での信号制御 ・ 下馬の交差点での交通処理能力を高めるために、江ノ電踏切と連動させた信号制御を行う。
歩 行 ・ 居 住 環 境 の 向 上 策	歩行者 尊重道路	⑭ 今小路通りでの歩行者系道路整備 ・ 鎌倉駅西口での交通静穏化、藤沢鎌倉線での自動車交通量の削減を図るために、歩行者を重視した再整備を行う。 ⑮ 小町大路での歩行者系道路整備 ・ 小町地域での交通静穏化を図るために、歩行者を重視した再整備を行う。 ⑯ 海浜公園から周辺観光拠点間での歩行者系道路整備 ・ パーク&バスライドの拠点となる海浜公園からは長谷寺や大仏等の観光拠点及び材木座へは徒歩圏に含まれる。 ・ このため、海浜公園から周辺観光拠点に至る道路を歩行者を重視した再整備を行う。 ⑰ 江ノ電長谷駅前道路での歩行者系道路整備 ・ 江ノ電長谷駅から長谷寺や大仏への観光客が歩道から車道部に溢れているため、歩行者を重視した再整備を行う。 ・ なお、本計画の精神が湘南地域全体に波及し、周辺の道路で交通量を受け持てる状況になった段階では、日祭日に時間規制による歩行者天国化を検討する。
	地区通過 交通対策	⑱ 由比ガ浜・長谷地区でのゾーンシステム ・ 通過交通が流入する同地区を3つのゾーンに区分、地区の主要道路を部分的に改良、遮断することによって通過交通を排除し、交通静穏化を図る。
総合的な 交通情報		⑲ 鎌倉地域における総合的な交通情報の提供 ・ 道路での混雑状況、駐車場での満空状況、ロードプライシングの実施状況等について多様なメディアで提供する。
プロモーション		⑳ PRやキャンペーン等のソフト施策・情報発信 ・ 市民宣言の精神を周知し、よりよいまちづくりを進めるために、地元住民や商業者及び交通事業者と行政との協働によるPRやキャンペーン等のソフト施策を展開する。 ・ 調査、企画、実験内容や評価等についても広く情報を発信する。